

学籍番号 _____ 氏名 _____

— 内積とノルム —

内積の性質: c を任意の実数, u, v, w を任意の実関数とすると, 内積は以下の性質をもつ.

$$(u, v) = (v, u), \quad (cu, v) = c(u, v), \quad (u + v, w) = (u, w) + (v, w), \quad (\text{i})$$

$$(u, u) \geq 0 \text{ であり, } (u, u) = 0 \text{ は } u = 0 \text{ のときに限る.} \quad (\text{ii})$$

ノルムの定義: $\|u\| := \sqrt{(u, u)}$

1. 講義中で定義した (u, v) , $\langle u, v \rangle$:

$$(u, v) := \int_{\Omega} uv \, dx, \quad \langle u, v \rangle := \int_{\Omega} \nabla u \cdot \nabla v \, dx$$

は上で述べた内積の性質を満たすか? 満たさないとすれば, どのようにすれば満たすことができるか?

2. 講義中で述べた 1 次元問題

$$\begin{cases} -\frac{d^2 u}{dx^2} = f & (0 < x < 1) \end{cases} \quad (2.1)$$

$$\begin{cases} u(0) = \alpha, & \frac{du}{dx}(1) = \beta \end{cases} \quad (2.2)$$

について, (u, v) , $\langle u, v \rangle$ などの記号をどのように定義すれば 2 次元の場合と同様簡略化できるか? またそれらの記号を使って弱形式

$$\int_0^1 \frac{du}{dx} \frac{dv}{dx} \, dx = \int_0^1 f v \, dx + \beta v(1) \quad (2.6)$$

を簡単に記せ.

〈裏面に続く〉

3. (Schwarz の不等式) 実数 t に関する 2 次式 $at^2 + 2bt + c$ が常に正または 0 であるとき, $b^2 - ac \leq 0$ が成り立つ (2 次方程式の解の存在条件). これを用いて, Schwarz の不等式を証明することを考える. 積分に限定しない一般の内積について, 表面枠内の定義のみを用いて以下の問いに答えよ.

(1) t を実数, u, v を関数とすると, 内積 $(tu + v, tu + v)$ を展開せよ.

(2) (1) で得られた展開式は t に関する 2 次式とみなせる. このとき, 上の a, b, c に相当するものはそれぞれ何か?

(3) Schwarz の不等式 $|(u, v)| \leq \|u\| \|v\|$ を示せ.

4. (三角不等式) Schwarz の不等式を用いて, 三角不等式 $\|u + v\| \leq \|u\| + \|v\|$ を示せ.